

表4 選択コースの例

教科名	コース名	学 習 内 容
社 会	君は今から国際人	世界の中の日本(経済や文化)について研究する。
理 科	MICRO WORLDへの旅	ミクロの世界を探求する。
	おしえてガリレオ	ガリレオの一生を研究する。
保健体育 技・家	健康を作る	健康を保持増進させるために運動と食物から研究をする。

### 3 選択教科の実施状況

#### (1) 選択教科の授業時数の確保状況

表5と表6は県内の公立中学校(抽出30校)に行ったアンケート調査の結果である。表5は第2学年における上限、下限のある教科と選択教科の授業時数の割合をまとめたものである。この表を見ると平成4年度では、音楽、美術を70時間確保している学校が多く、特別活動の授業時数は35時間の学校が多いことがわかる。これは外国語を除いた選択教科の実施状況と比例している。平成5年度になると音楽、美術の授業時数は35時間と2教科合わせて105時間の学校が多くなっている。また、特別活動の授業時数も平成4年度と比べると35時間の学校が6%増えている。平成5年度から新学習指導要領が全面実施になることから、第2学年での選択教科を開設している学校が94%になった。

表5 第2学年の選択教科授業時数確保状況(県内抽出校による) (%)

	音 楽		美 術		特別活動		外国語		選択教科	
	35時間	70時間	35時間	70時間	35時間	70時間	105時	140時	無し	35時間
平成4年度	17	64	11	70	86	14	3	97	58	42
	2教科合わせて105時間		19							
平成5年度	28	33	33	28	92	8	6	94	6	94
	2教科合わせて105時間		39							

表6 第3学年の選択教科授業時数確保状況(県内抽出校による) (%)

	社 会		理 科		保健体育		技術・家庭	
	70時間	105時間	105時間	140時間	105時間	140時間	70時間	105時間
平成4年度	0	100	0	100	100	0	3	97
平成5年度	0	100	0	100	100	0	61	39
	特別活動		外国語		選択教科			
	35時間	70時間	105時間	140時間	35時間	70時間	105時間	
平成4年度	20	80	83	17	94	6	0	
平成5年度	89	11	11	89	42	52	6	

表6は第3学年における上限、下限のある教科と外国語を除いた選択教科の授業時数の関係をまとめたものである。社会、理科などの教科は上限の授業時間を取っている学校がほとんどである。選択教科の授業時間を確保する

## 研究概要

ために保健体育，技術・家庭，特別活動の授業時間を下限で設定している。平成5年度の学習指導要領の全面実施を受けて，週2時間以上の選択教科を設定している学校が6%から58%と増加した。

### (2) 選択教科の種類

選択教科の種類については，第2学年では，学習指導要領に示されている教科を設定している学校が，平成4年度では56%であったが，平成5年度では18%に減少している。教科の中で複数にコース分けをしたり複合教科でコースを設定したりする学校が44%から82%に増加した。これは生徒の多様な選択の希望に対応しようとするために増加したと思われる。

表7 選択教科設定の種別 (%)

	選択教科の種類	平成4年度	平成5年度
第2学年	教科別	56	18
	教科内コース別	33	65
	コース別	11	17
第3学年	教科別	50	14
	教科内コース別	40	58
	コース別	10	28

第3学年の選択教科の種類についても第2学年と同じようなことが言えるが，また，第3学年の特徴として，第2学年で選択しなかった教科を中心に選択教科を設定している学校が少数ある。これは外国語を除いた選択教科の授業時間を週1時間設定している学校であり，主に国語，社会，数学，理科などの教科を選択している。だが，週1時間の授業時数を設定している学校の中でも第2学年と同じ教科（音楽，美術等）やコースを設定している学校も多い。

### 4 選択教科開設までの手順

選択教科の開設に向けて表8のような手順で実施しながら研究を進めた。また，選択教科の開設までの計画を表9のようにまとめ，実際に選択教科を実施した。そして，選択教科開設後の計画は表10のように考えて実施した。特に，「選択教科の実施に向けて」では，生徒の希望を生かす選択教科の設定や学習方法の工夫に重点を置き，「開設までの計画」では，生徒及び保護者に意義の徹底を図り，生徒が自己選択できるように説明会等に焦点を定めた。また，「開設後の計画」では，生徒の興味・関心の持続と次年度のための反省と評価に重点を置いた。